

ういやまだよい

Contents

- ★幹部職員のあいさつ
- ★職員紹介：新任医師・薬剤師
看護師長
- ★治療の紹介：カテーテルアブレーション
- ★色んな職種に聞いてみよう
- ★外来予定表

2020.5月
Vol.3



発行

群馬県立小児医療センター
〒377-8577 渋川市下箱田779番地
TEL.0279-52-3551 (代表)
TEL.0279-52-4000 (予約専用)
TEL.0279-52-7171 (地域連携室)
FAX.0279-52-7333
URL:<http://www.cmc.pref.gunma.jp/>

幹部職員のあいさつ

総合周産期母子医療センター長 丸山 憲一



本年4月1日付で総合周産期母子医療センター長を拝命しました。

当院の総合周産期母子医療センターは、小児病院に設置される形で15年前に発足し、早産児、低出生体重児、病気を持った赤ちゃんとそのお母さんたちを赤ちゃんが生まれる前から途切れなく見守り、最善の医療を提供するように努めてまいりました。現在では出生体重が300g台の小さな赤ちゃんや在胎22週の極めて未熟性の強い赤ちゃんも救命できるようになっています。

今後も、さまざまな子供の病気に対応できる小児病院の総合周産期母子医療センターとして、その特色を生かし、赤ちゃんとその家族に寄り添った医療を行っていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

薬剤部長

藤波 洋征



本年4月から薬剤部長を拝命いたしました。薬剤部は、薬剤師10名（正規職員8名、会計年度任用職員2名）でお薬に関して患者様に安全で適切な医療を提供できるように日夜励んでおります。

薬剤部の業務は、主に調剤を中心とする対物業務から人を対象とする対人業務の比重が増えつつあります。当院でも一部の病棟で薬剤師が病棟に赴き、患者様にお薬の説明や服薬状況について確認する等、薬剤管理指導業務を行っています。将来は、全ての病棟に拡大できる体制を確立できるようにしたいと考えております。また、感染制御チームや抗生剤適正使用支援チームのメンバーとして薬剤師が参加し、活躍しております。これからも他の部署とも協力しながら、小児医療に貢献できるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新任医師のあいさつ



産科 京谷 琢治



本年度より産科に勤務させていただきます京谷琢治と申し上げます。2002年に高知医科大学（現高知大学医学部）を卒業し、2011～2018年まで当センター産科に勤務、その後1年半宮城県立こども病院産科に国内留学しておりましたが、この度産科科長として戻って参りました。

当科は県内唯一の総合周産期母子医療センター産科として求められることが非常に大きいものの、小児専門病院という特性上、特に母体ハイリスク症例の診療面でハンデ限界がございます。そういった中で、最大限の役割を果たしていくため、院内各部署の皆様にご協力やご負担をお願いすることもございますが、何卒ご理解頂ければ幸いです。当センターは自分にとって“family”です。宜しくお願い致します。

循環器科 中島 公子



平成23年度に当院小児科レジデントとして第1病棟で研修を行い、平成24年度から4年間是小児循環器の研鑽を当センターで積みました。

単心室循環やその管理と予後、成人先天性心疾患領域の勉強を希望して、平成30年度から2年間、国立循環器病研究センター小児循環器科で専門修練医として研修を行って参りました。心臓病を持ちながらも成長して行く群馬の子供達(Grown-Up Congenital Heart Disease Patients, GUCH patients)を健やかに社会に送り出すためにどうしたらいいのか、多くの宿題をもらって戻ってきました。チームで取り組んでいきたいと思ひます。是非皆様のご協力をよろしくお願い致します。

小児外科 則内 友博



4月より勤務させて頂くことになりました則内友博（すのうちともひろ）と申します。

北海道大学医学部を卒業し、2年間の初期研修を終了した後、仙台オープン病院にて消化器外科・一般外科の研修を3年間行いました。昨年4月に東京大学医学部附属病院小児外科に入局し、大学病院で小児外科の研修を開始しました。医師としては7年目、小児医療に携わってからは2年目と経験が浅いですが、皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思ひます。よろしくお願い致します。

小児外科 菊地 健太



4月から小児外科で勤務させて頂くことになりました、菊地健太と申します。

私は初期研修終了後、2016年に獨協医科大学埼玉医療センター小児外科に入局し、今年3月までは県内の公立藤岡総合病院の外科に勤務していました。この度、初めて小児病院で勤務させて頂く機会を頂き、大変光栄に思っています。

まだまだ未熟者で、先生方を始め病院スタッフの方々にはご迷惑をかけることも多いと思ひますが、当院へ受診される子ども達のために精一杯取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

産科 村上 麻耶

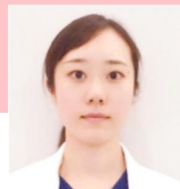


この度4月から産科で勤務させていただくことになりました、村上麻耶と申します。

群馬大学を卒業後、2年間東京警察病院で初期臨床研修を行い、群馬大学産婦人科に入局しました。その後は群馬大学附属病院、伊勢崎市民病院で勤務して参りました。当センターの産科で働くことは、大きな責任の伴うものだと認識しています。貴重な機会が得られたことを嬉しく感じると同時に、身の引き締まる思いです。まだまだ未熟者ですが、少しでも皆様のお力になれる様、日々研鑽して参りたいと思ひます。

どうぞよろしくお願い致します。

形成外科 佐々木 淑恵



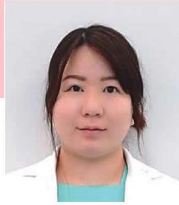
一年ぶりに当センターでお世話になります、佐々木淑恵と申します。

昨年度は昭和大学病院形成外科におりました。群馬、東京、英国で得てきたことを生かしつつ、頼れる形成外科医になれるよう、日々邁進してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。

新任医師・薬剤師・看護師長のあいさつ



麻酔科 星野 智



本年 4 月より麻酔科で勤務させていただくことになりました、星野智と申します。

群馬大学を卒業後、群馬大学医学部付属病院にて初期研修を行い、麻酔科へ入局しました。これまで群馬大学附属病院、高崎総合医療センター、前橋赤十字病院で勤務し当院へ赴任となりました。まだまだ未熟者ではありますが、安心して手術をうけて頂けるように精一杯努力していきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

アレルギー科 江原由佳子



4 月より後期研修医として勤務させていただきます
江原由佳子と申します。

私は群馬県出身であり、杏林大学医学部を卒業後、杏林大学付属病院にて初期研修を修了し、小さな頃からの夢である小児科医への道を目指し、今回、群馬県立小児医療センターにて後期研修医として学ばせていただくこととなりました。小児科医として働きはじめたばかりであり、右も左もわからない状態であるため、先生方やスタッフの方々にご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、少しでも皆様のお役に立てるようひとつひとつの症例を大切に、日々精進してまいります。

どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

薬剤部 伊藤 理恵



本年 4 月より薬剤部薬剤課で薬剤師として勤務させていただくことになりました伊藤理恵と

申します。昨年度までは群馬県立精神医療センターに勤務しておりました。小児医療センターでの勤務は今回が初めてとなります。緑豊かで明るく、あたたかい印象を受けた小児医療センターのスタッフの一員として働くことができ、とても嬉しく思っています。

微力ながらこれまでの経験を活かしつつ、薬剤部のスタッフと力を合わせて患者の皆様へ安全な医療を提供できるように努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

手術室師長 角田愉香理



今年度、心臓血管センターから転勤となりました、手術室看護師長の角田愉香理です。

転勤に伴い、少し通勤時間が長くなりましたが、通勤中に季節の木々や花を見て、季節を感じる事が楽しみとなり、仕事前にリフレッシュできる時間となっています。不慣れでご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、スタッフと共に、患者さんやご家族にとって、安全で安心した手術室看護を提供していきたいと思っております。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

新任看護師長 北爪幸子



本年 4 月 1 日より看護師長を拝命いたしました北爪幸子と申します。

私は平成 5 年に小児医療センターへ就職後、内科系病棟を中心に業務をしてまいりました。平成 2 3 年に感染管理認定看護師の資格を取得し、感染担当看護師・専従者として 7 年間組織横断的に活動しました。その後病棟勤務となり、今年度より外来看護師長として勤務させていただいております。患者様・ご家族の皆様が安心して治療・療養生活が送れるよう看護師長として精進してまいります。不慣れな点が多く、皆さまにご迷惑をおかけするかと存じますが、よろしくお願いいたします。

いろんな職種に
聞いてみよう！！

第3回 臨床検査技師 〈検体検査編〉

病院に勤めている人達に、若手看護師がインタビューするコーナーです。

臨床検査技師：神山晴美さん（検体検査課課長）
インタビュー看護師：柳田安友加さん、片桐梨果さん



Q1. 臨床検査技師の業務内容を教えてください。

臨床検査技師は、医師が適切な診断や治療を行うために「検体検査」や「生理検査」という臨床検査によって、患者さんの検体や体から得られるデータを集め、医師に提供する仕事です。検体検査課では、患者さんから採取した血液や尿、髄液、組織などの検体を使って検査を行っています。

血液を遠心分離した血清で酵素活性や電解質、脂質などを測定する生化学検査や感染症、血中薬物濃度などを測定する免疫化学検査、アレルギー検査では約60種類の項目を測定しています。血液・輸血検査では、血液中の血球成分の割合の分析や適合輸血を行うために血液型検査や交差適合試験などを行っています。

病理検査では、手術材料や生検、胎盤の組織診断や白血病の治療効果判定のため、細胞診で髄液の異型細胞を検索しています。

精度管理も検査技師の大切な業務です。毎日、正確なデータが出せるように機器の管理やメンテナンスをしています。

Q2. なぜその職業に就こうと思ったのですか？

私自身が子供の頃小児喘息で入院し、その後も定期的に通院していたので、病院で働くスタッフは身近な存在でした。白衣を着て検査をする技師さんに憧れたのがきっかけです。

Q3. 臨床検査技師の魅力は？

臨床検査の分野は多岐にわたります。担当分野を深く勉強して、認定資格を取ることできます。

自分たちの知識やスキルで、診断や治療の手助けができた時は、やりがいを感じます。宿直の時など、急変の患者さんの検査に対応し、治療に貢献できた時は、うれしいです。

Q4. 普段の業務で気を付けているポイントは？

小児医療センターの患者さんは、生まれたばかりの赤ちゃんや、小さなお子さんが多いので、大人の病院に比べて非常に少ない検体量で検査をしています。限られた検体で、できるだけ多くの検査をし、正確なデータが提供できるように、検査機器の選定や測定順序などに気を付けています。

Q5. 看護師へのお願い・気を付けてほしいポイントは？

小児なので採血の時は大変だと思います。採血量や容器の選択、採血後の処理など、迷ってしまうことがあればいつでも連絡して下さい。気軽に検査室に寄っていただければと思います。

Q6. 他部署との連携について教えてください。

検体検査は、実際に患者さんに接することは稀な検査です。血液腫瘍科のカンファレンスには、毎週参加して、他の医療者と情報共有し、患者さんの状態を把握するようにしています。

＊ 看護師の感想 ＊

小児の検体は量がとても少ないため、検査技師の方達は、少ない量の検体で、必要な検査が実施できるように考えながら日々業務を行なっていることがわかりました。検体を検査課に持って行くこともあるため、検体は大事に扱ってほしいと思います。検査技師の方々とコミュニケーションを図る機会は少なかったのですが、今回の機会を大事にして、積極的にコミュニケーションをとってみたいです。



治療の紹介

カテーテルアブレーション

循環器科

部長 池田健太郎

今回は、頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーション手術について紹介します。

<カテーテルアブレーションとは？>

アブレーションとは英語で「取り除く」という意味です。脈が速くなる頻脈性不整脈は心臓の中に異常な電気回路があることが原因で発生します。薬では回路を抑えることで不整脈を起こりにくくすることはできますが、原因はなくなるため根本的な解決にはなりません。

カテーテルアブレーションでは原因を取り除くことにより不整脈を根本的に治療することができます。成人の領域では頻脈性不整脈に対するカテーテルアブレーションは一般的な治療として普及しています。小児においても成人と同様な有効性が示されていますが、まだ小さい子供に対するカテーテルアブレーションを行える施設は限られているのが現状です。

<どのように治療を行うのか？>

カテーテルアブレーション治療では、まず足の付け根の血管から数本のカテーテルを心臓の中に挿入します。

このカテーテルには心電図がついており、心臓内の電気の流れをくわしく検査することができます。詳細な検査で原因を突き止めた後、原因となっている部分に高周波通電を行うことによって組織を焼灼することで不整脈の原因を取り除きます。

当院では治療中は鎮静剤を使用して、眠った状態で行っています。

<当院におけるカテーテルアブレーションについて>

群馬県においては 2000 年代後半から群馬県立心臓血管センター内藤先生の協力のもと小児に対するカテーテルアブレーションを行ってきました。当初は心臓血管センターで、お子さんの治療を行っていましたが、2014 年からは当院での治療が可能となりました。

入院期間は原則として 2 泊 3 日です。治療前日に入院し、治療翌日に退院となります。術後 1 週間ほどは、激しい運動を控えていただきますが、その後は通常の生活が可能です。

不整脈でお困りの際には、ぜひ循環器内科にご相談ください。



図：カテーテルアブレーションを行っている様子



群馬県立小児医療センター 外来診療予定表

(令和2年5月11日現在)

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合内科	午前	清水 彰彦	山口 有	清水 有紀	鈴木 江里子(第2・4週) 森田 孝次(第1・3・5週)	柴 徳生(第2・4週) 鈴木 江里子(第1・3・5週)	
	午後	江原 由佳子 山口 有	道和 百合	山口 有	江原 由佳子 椎原 隆	森田 孝次	
神経内科	午前	椎原 隆 迫 恭子(第1・3・5週) 清水 有紀(第2・4週)	清水 信三(第1・3・4週) 森田 幸次(第2・5週)	渡辺 美緒	鈴木 江里子(第1・3・5週) 森田 孝次(第2・4週)	椎原 隆	
	午後	渡辺 美緒			道和 百合		
循環器科	午前	小林 富男 池田 健太郎		池田 健太郎		小林 富男(9:30～) 新井 修平	
	午後	池田 健太郎 (13:00～15:00) 浅見 雄司 (13:00～15:30)	下山 伸哉	小林 富男 (13:00～15:30) 池田 健太郎(第3週以外) (13:30～15:00)		中島 公子	
血液腫瘍科	午後	外松 学 (14:00～)	河崎 裕英	河崎 裕英(予約:医師のみ) 大和 玄季 (何れも14:00～)			
腎臓内科	午後		丸山 健一(第1・3・5週) (13:30～16:00)		池内 由果(第2・4週) (13:00～)	鎌 裕一(第2・4週) (13:00～16:00)	
アレルギー・感染 免疫・呼吸器科	午前			滝沢 琢己(第1・3・5週) アレルギー検査(第2・4週)			
	午後	アレルギー科医師	山田 佳之 (14:00～14:30:初診) 清水 彰彦(感染症・免疫)	滝沢 琢己(第1・3・5週) (13:30～再診、14:00～14:30:初診) アレルギー検査(第2・4週)	山田 佳之 (14:00～14:30:初診) 野村 滋(膠原病・免疫)	加藤 政彦(第3週) (13:00～16:00) 野村 滋 (14:00～14:30:初診)	
一般外科	午前		小山 亮太		高澤 慎也 西 明(第2・4週) (何れも9:00～10:30)		
	午後		菊地 健太 西 明(第1・2週) 高澤 慎也(第3・4・5週)			西 明 菊地 健太(第1・3・5週) (13:00～15:30:初診) 小山 亮太(第2・4週) (13:00～15:30:初診)	
心臓血管外科	午前					岡 徳彦/林 秀憲 井上 崇道 (何れも9:30～)	
	午後	岡 徳彦/林 秀憲 井上 崇道 (何れも14:00～)		岡 徳彦/林 秀憲 井上 崇道			
形成外科	午前	浜島 昭人 (9:00～10:00:初診)			浜島 昭人 (9:00～10:00:初診)		
	午後	浜島 昭人 佐々木 淑恵			浜島 昭人 佐々木 淑恵 (14:00～)		
整形外科	午前	浅井 伸治/富沢 仙一 (午前:再診、午後:初診)		浅井 伸治/富沢 仙一 (午前:再診、午後:初診)		浅井 伸治	
脳神経外科	午後		藤巻 広也(第2週) (13:30～16:00)				
新生児科	午前		井上 文孝(第2・4週) (新生児・退院支援)				
	午後	丸山 憲一/錦木 浩太		小泉 亜矢	丸山 憲一/福田 一代	市之宮 健二 本間 春奈(第3週以外)	
産科	午前	飯野 彩奈(初診)	京谷 琢治(再診)	木暮 さやか(再診)		飯野 彩奈(再診)	
	午後	京谷 琢治 村上 麻耶(初診)		京谷 琢治 村上 麻耶(初診)	村上 麻耶(再診)	木暮 さやか(初診)	
胎児心臓外来	午前				循環器科医師		
胎児超音波 スクリーニング外 来	午前					産科医師	
	午後			産科医師	産科医師		
母乳外来	午前			助産師			
	午後						
麻酔科	午前		廣木 茜		山崎 聡子	松本 直樹	
	午後	麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)		麻酔科医師(術後)	麻酔科医師(術後)	
放射線科	午前						
	午後			畠山 信逸			
遺伝科	午前	山口 有(予約:医師のみ)				山口 有	
	午後						
歯科・障害児歯 科	午前			木下 樹/大嶋 瑛		大嶋 瑛	
	午後 (14:00～)	木下 樹/大嶋 瑛	木下 樹/大嶋 瑛	大嶋 瑛	木下 樹/大嶋 瑛	木下 樹/大嶋 瑛	
耳鼻咽喉科	午前			松山 敏之(第1・3・5週) (9:00～11:00)			
	午後	高橋 秀行(第1週) 新國 楨(第2週) 紫野 正人(第4週) (何れも15:00～)					※2
眼科	午前			平形 恭子(第2・4週)			
小児精神科							※3
内分泌代謝科	午後		濱嶋 恵美(14:00～)				※2
リハビリテーション	午前	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	理学療法士/作業療法士 言語聴覚士 浅井 伸治 (リハ外来、13:00～14:00)	
	午後						
心理検査	午前						
心理カウンセリング	午後	臨床心理士		臨床心理士	臨床心理士		
予防接種	午後					(第1・3週:13:00～15:00)	

※1：外来診療の開始時間は、注記のあるものを除き、午前は9:00、午後は13:00から

※2：耳鼻咽喉科、内分泌代謝科、脳神経外科につきましては、都合により当分の間、新規紹介の受付ができませんのでご了承願います。

※3：小児精神科外来につきましては、平成28年4月1日より当分の間、休診とさせていただきます。